

佐倉城下町エリアビジョン概要版 (案)

佐倉市
令和6年●月

城下町エリアの目指す姿(ビジョン)

暮らす人も訪れる人も楽しめる「となりの城下町」

城下町地区は、佐倉市観光グランドデザイン「観光Wコア構想」の核の一つとして位置付け、観光グランドデザインの基本理念「歴史の趣き、自然の恵み『となりの観光地・佐倉』～気軽に、繰り返し、楽しめるまち～」に基づき事業を進めています。「観光Wコア構想」を実現し、交流人口を増やすことでにぎわいと活力をもたらすためには、まちに暮らす人が自らの手で日常を豊かにする視点が重要です。このエリアは、城下町として、古くから多くの人々が暮らし、歴史を積み重ね、文化を育んできました。これらの歴史・文化の上に、公と民が連携して新たな価値を創造するための道標として城下町エリアの目指す姿（ビジョン）を定めます。

実現するための3つの視点

まちへ出る動機となる 目的地(拠点)づくり

- ・ 公共空間や空き地、空き家などの活用
- ・ 拠点でのイベントや体験プログラムの開発
- ・ 新たな共創の機会や場作り

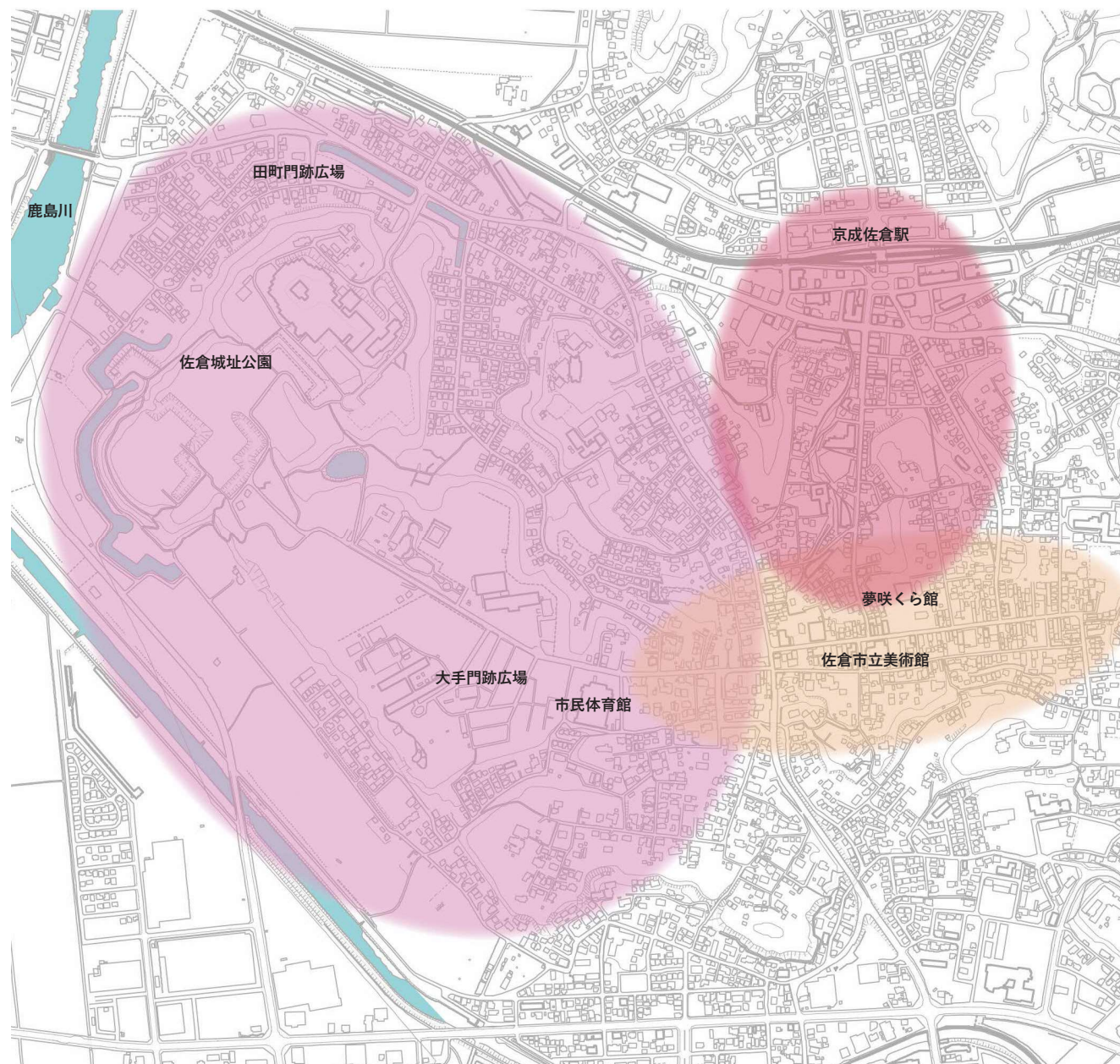
持続的な取組を支える 仕組みづくり

- ・ 取組を実施する運営体制の強化
- ・ 公民連携の促進、庁内連携横断体制の構築
- ・ 公共空間活用の規制緩和

誰もが安心できる 都市空間(環境)づくり

- ・ 歩行者優先の交通体系づくり
- ・ 歩行者ネットワークの形成

各ゾーンについて



01. 京成佐倉駅前ゾーン



京成佐倉駅前と駅から新町通りまでの一方通行の通りを中心に、飲食店をはじめ小規模な店舗が多数並ぶ。通勤者や通学の高校生、観光客など様々な人が行き交うゾーン。

02. 新町ゾーン



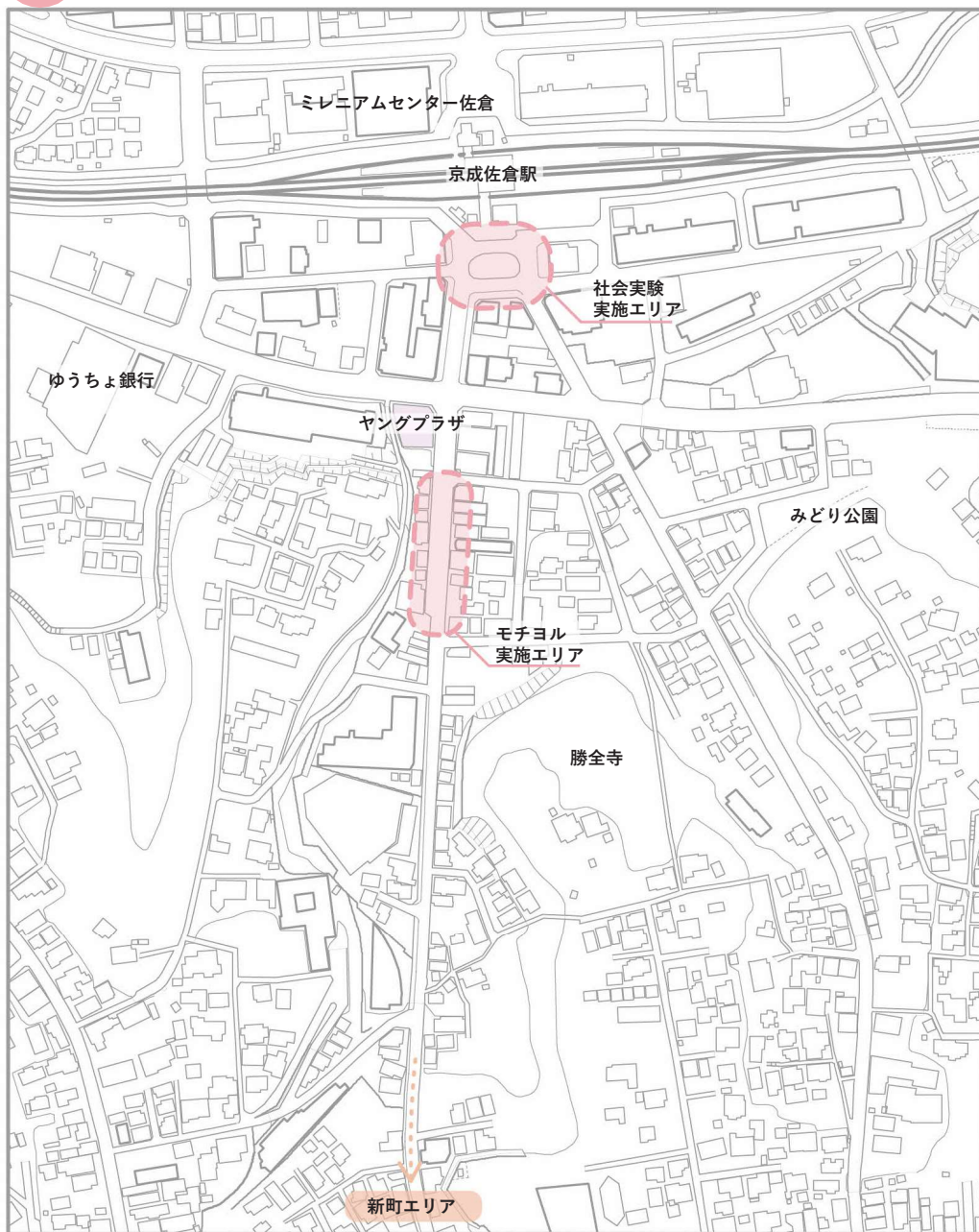
旧城下町の中心に位置し、公共施設、古民家など明治から令和までそれぞれの時代の建物が建ち並ぶ。観光地であると同時に地域の人々の暮らしを垣間見ることができるゾーン。

03. 城址公園ゾーン



佐倉城址公園や大手門跡広場、武家屋敷群が並び、国立歴史民俗博物館も位置するゾーン。観光地であると同時に市民の憩いの場でもある。

01. 京成佐倉駅前ゾーン



[特性].....

- ・坂道
- ・一方通行
- ・新規出店者の増加
- ・空き家、空き家店舗が点在
- ・飲食店をはじめ小規模な店舗が多数存在
- 等

[地域組織].....

- ・(公社)佐倉市観光協会
- ・佐倉イズム※
- 等

[イベント/取組].....

- ・桜に染まるまち、佐倉（社会実験）
- ・モチヨル
- 等

※「食」を通じて佐倉で盛り上げようと集まった地元の若手実力派飲食店のグループ

取組方針

- 城下町エリアの玄関口として、訪れる人、特にインバウンドを迎え入れる機能を導入する。
- 建物低層部などの沿道機能が、通りを歩く人にとって魅力となる環境をつくる。
- 高校生の活躍の場、地元との交流の場をつくる。
- 公民連携により、地元主体の持続可能な街路沿道の運用や空き家・空き店舗活用を促進する仕組みを構築する。
- 佐倉市全体の食の発信拠点となるような取組を行う。



社会実験時の様子



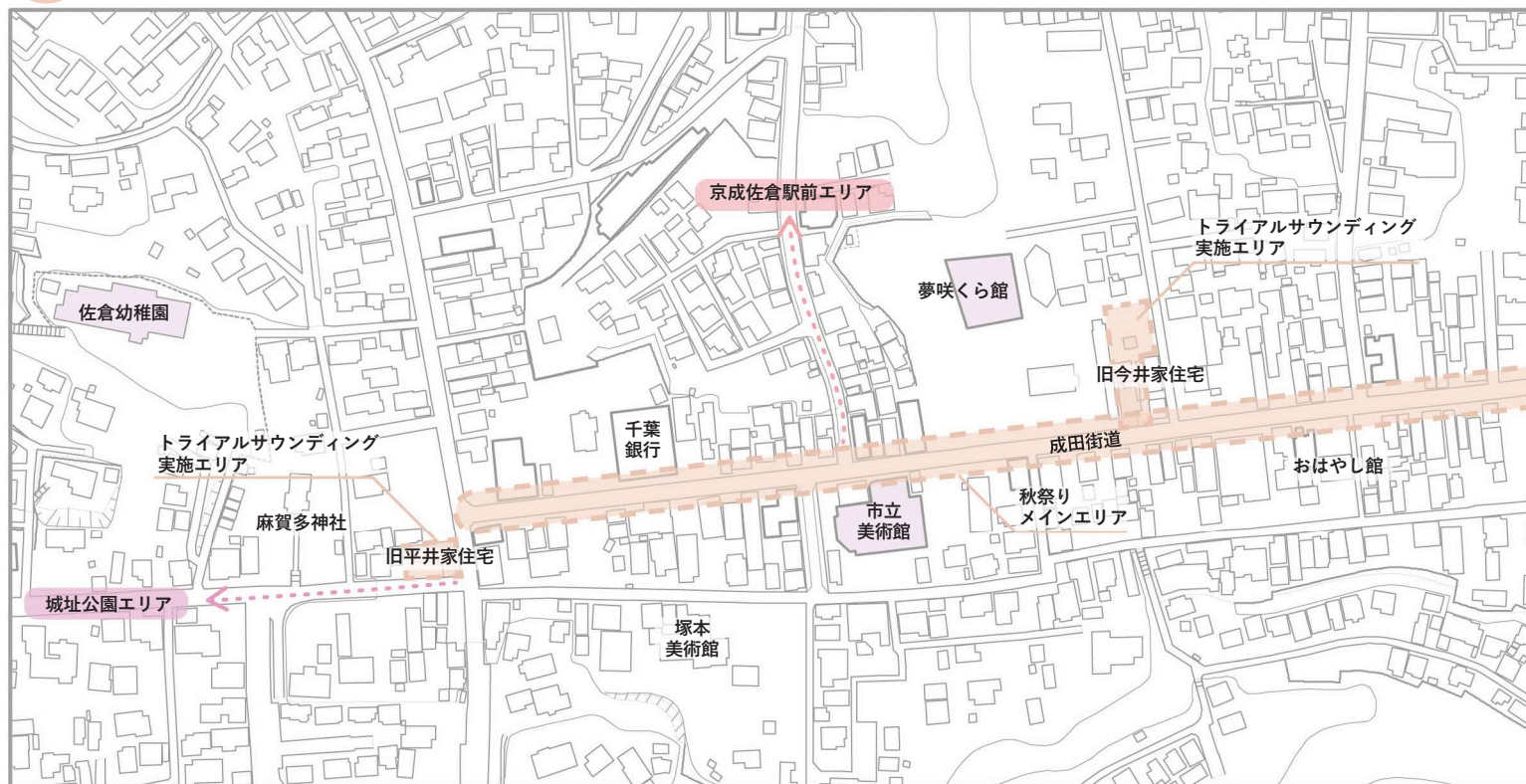
モチヨル開催時の様子

01. 京成佐倉駅前ゾーン

佐倉の食とストーリーを発信する
「城下町の玄関口」



02. 新町ゾーン



佐倉の秋祭り開催時の様子



トライアルサウンディング実施時の様子

[特性].....[地域組織].....

- ・公共施設が多い
- ・中心市街地
- ・歴史的建造物が多い
- ・文化的施設が多い
- ・公園が無い
- ・店舗兼住宅が多い
- ・京成とJRの駅の間地点
- ・高齡化による代替わり
- ・寺、神社、教会がある 等
- ・佐倉城下町商店会
- ・NPO法人佐倉一里塚
- ・佐倉の秋祭り実行委員会
- ・金毘羅縁日ふれあい実行委員会
- ・佐倉囃子保存会
- ・佐倉山車人形保存会
- ・佐倉・時代まつり実行委員会 等

[イベント/取組].....

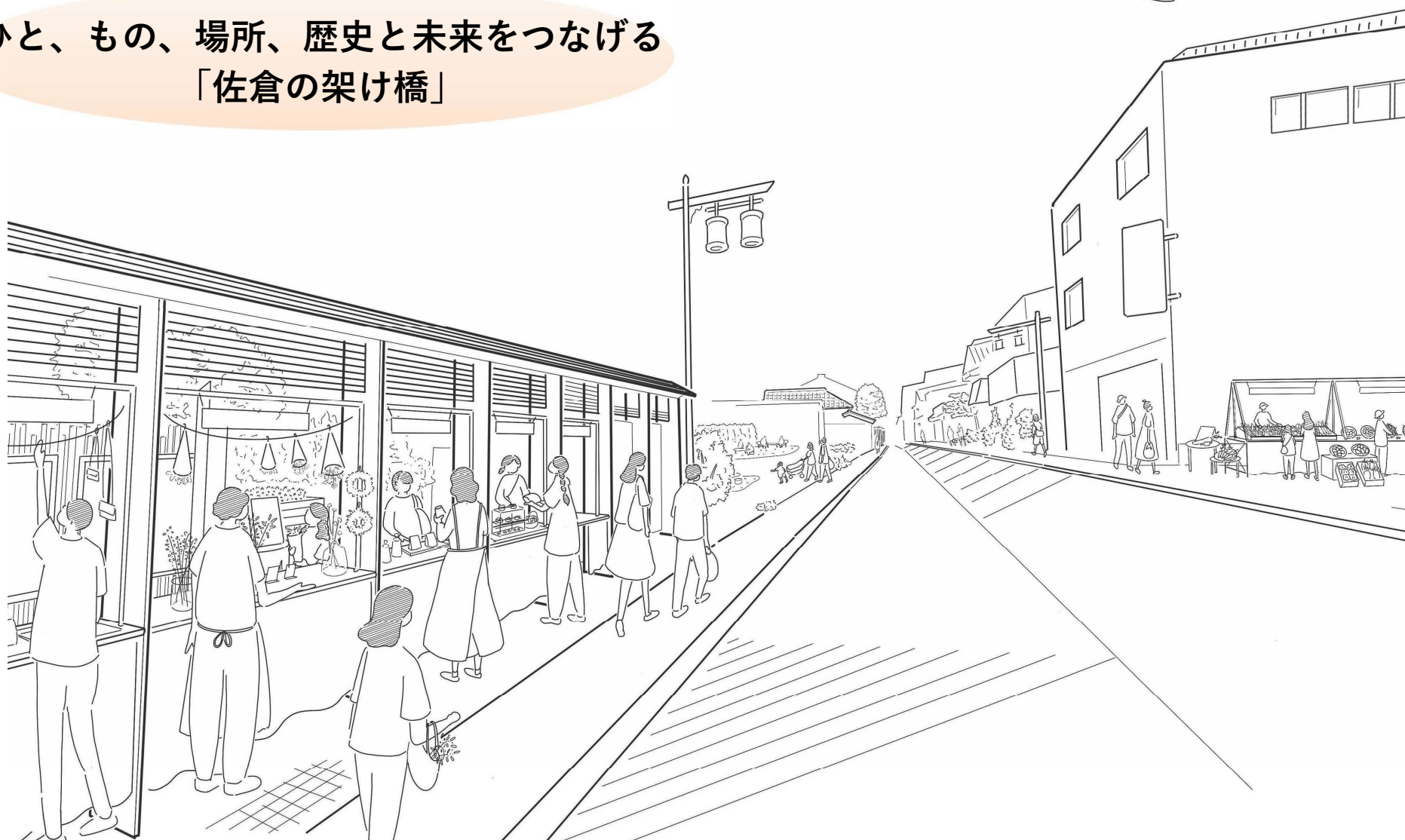
- ・金毘羅縁日ふれあいマーケット
- ・水曜朝市
- ・佐倉の秋祭り
- ・佐倉城下町きもの散歩
- ・ボランティアによる観光ガイド
- ・むすびマルシェ (麻賀多神社)
- ・佐倉・時代まつり
- ・新町暮らシックCarまちなか博物館
- ・トライアルサウンディング (社会実験)
- ・お買い物循環バス
- ・佐倉城下町 夕涼み会
- ・さくまちDays (社会実験・千葉大学等) 等

取組方針

- 店舗の個性が引き立ち、地元の人も訪れる人も日常的に楽しむことができる場をつくる。
- 子育て支援施設の環境を活かして、子育て世代が集う環境をつくる。
- 利用しやすい駐車場の仕組みをつくる。
- 公共施設が連携し、市民にとって様々な文化表現の活動を日常化させる。
- マルシェなどを試行し、日常的に行きたくなる機能を導入する。
- 公民連携により、地元主体の持続可能な街路沿道の運用や空き家・空き店舗活用を促進する仕組みを構築する。〔再掲〕
- 佐倉市全体の食の発信拠点となるような取組を行う。〔再掲〕

02. 新町ゾーン

ひと、もの、場所、歴史と未来をつなげる
「佐倉の架け橋」



- ・公園を中心とするゾーン
- ・教育機関をはじめ公共施設が多い
- ・国立歴史民俗博物館が立地
- ・観光資源が多い

等

- ・こそだちフェス実行委員会
- ・城址公園ボランティア
- ・にわのわアート&クラフトフェア・チバ
実行委員会
- ・歴博通り田町商店会

- ・にわのわアート＆クラフトフェア・チバ
- ・こそだちフェス
- ・ボランティアによるガイドや清掃活動
- ・佐倉城下町菖蒲まつり
- ・さくまちDays（社会実験・千葉大学等）
- ・桜に染まるまち、佐倉（社会実験） 等



にわのわアート&クラフトフェア・チバ
開催時の様子



こそだちフェス開催時の様子

- 日常的に憩うことのできる心地良い滞在空間（飲食機能等）を創出する。
- 地元の方や作り手などの自由な表現活動の受け皿として活用しやすい場に整備する。
- こどもたちの教育を促進する機会や仕組みをつくり、公共施設と連携する。
- 公園や体育館を活用し、地元の人々の健康を増進する仕組みをつくる。

03. 城址公園ゾーン

暮らす人と訪れる人が緩やかに共生する
「城下町佐倉の象徴的空間」

